

関西大学 第4学舎4号館



2016・3

ごあいさつ

理工系3学部（「システム理工学部」「環境都市工学部」「化学生命工学部」）の前身であります工学部創設50周年を記念して建設された第4学舎3号館（平成20年（2008年）3月竣工）に続き、本年、4号館が竣工いたしました。奇しくも、大学創立130周年を迎える年に竣成となりましたことは、大変意義深いものであります。

この建物は2号館に囲まれた中庭に、最大限の面積を確保しつつ、閉塞感を軽減し、敷地の形状に合わせて17度の角度をつけて設計されました。

2号館本館棟から研究棟にかけては下り坂となっており、その地形を利用し、1階のエントランスはサンクンガーデンの様相を呈しており、さらにその先には杜の小景が開けております。

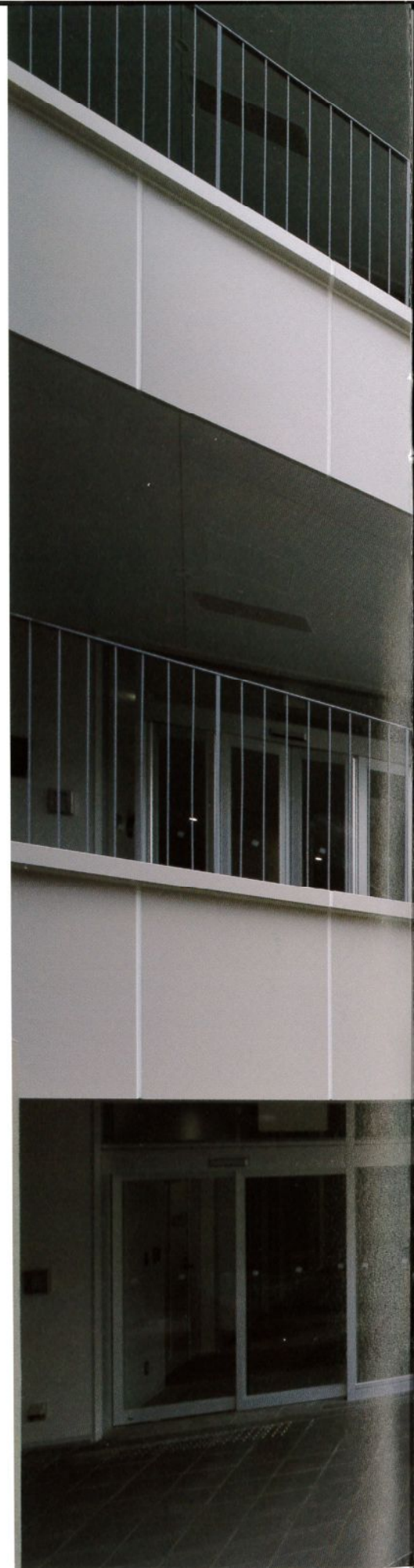
同館と2号館とは1,2,3階で接続し、1,2階では2号館本館棟、研究棟と3方向で連結しており、1号館を含めての移動の利便性を高めております。

4階建て、鉄骨造の3440.34㎡の延床面積を有し、全室教室から成る講義棟であります。部屋数及び収容人数は地下1階に268名収容の教室が1室、82名収容の教室が2室、1階は166名収容の教室1室、61名収容の教室が2室、2階は208名収容の教室が1室、190名収容の教室が1室、3階は397名収容の教室が1室（ホワイエ・サロンを隣接）の計9室であり、多様な授業形態に応えるとともに、講演会・セミナーなどにも利用可能な施設となっております。いずれの教室におきましても、最新の授業支援設備や可動機を設置し、ディスカッション用のホワイトボードや壁面にはガラスのスリットを設けるなど、自由度が高く、開放感のある設えとなっております。

3号館に引き続き、全館が教室から成る講義棟であります。この建物の竣工によりまして、第4学舎（理工系3学部）の施設・設備関連事業のコンセプトである「学生の学び、教員の教えの環境整備と改善」、「学びと創造の拠点の可視化」に大きく寄与し、理工系の教育活動のさらなる発展が期待できるものであります。

最後に、第4学舎4号館の竣工にあたり、関係者のご尽力に敬意を表しますとともに、関係各位から広く賜りましたご協力とご援助に対しまして、深甚なる感謝の意を表します。

平成28年3月
学校法人 関西大学





B1F東面



1F 共用部



1F
共用部

B1F
教室

B1F 教室



3F 教室



2F 教室

3F
教室

2F
教室



全体配置図

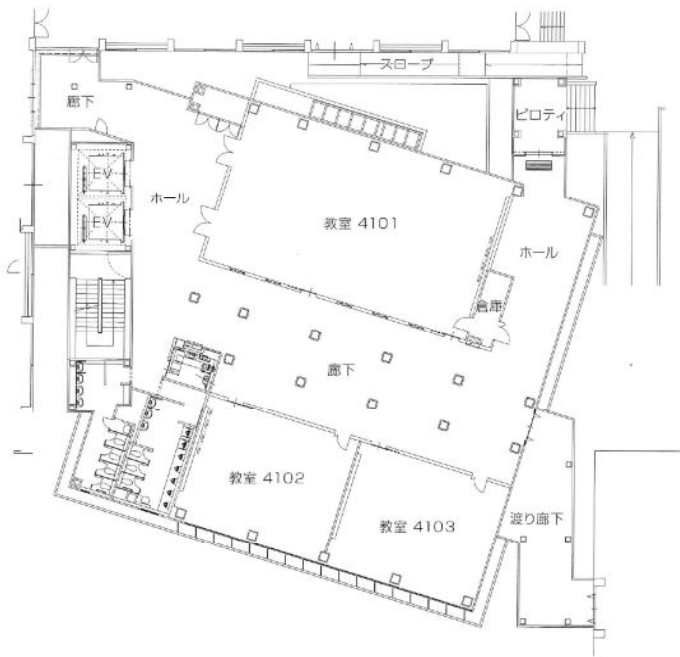
関西大学千里山キャンパスは、建築家村野藤吾により初期の骨格が形成されました。千里丘陵の恵まれた自然や地形とモダニズムとが共存する有機的なキャンパス計画が特徴です。この度の4号館のある第4学舎は、キャンパス中央のやや南側にあり、中央のエリアを囲うように旧尾根地形を辿りながら、特徴的な鉤型の配置にて建築が繋がっています。自然景観と融和させながら巧みに中庭や広場を作り出し、キャンパスが形成されています。

この第4学舎のリノベーションにおいては、このような村野設計による既存の学舎自体は保存（耐震改修）しながら、2号館に囲われた中庭の隅に4号館を増築として配しました。大きくは保存し小さく建て増していく、今世紀に相応しいキャンパス手法の先端を切るものです。教室の必要ボリュームが大きい中で、既存環境に対して最もインパクトの少ない正方形を採用し、配置を少し傾ける事で敷地境界に馴染ませた緑地を確保したり、建築間の隙間に光と風が入るようにしました。

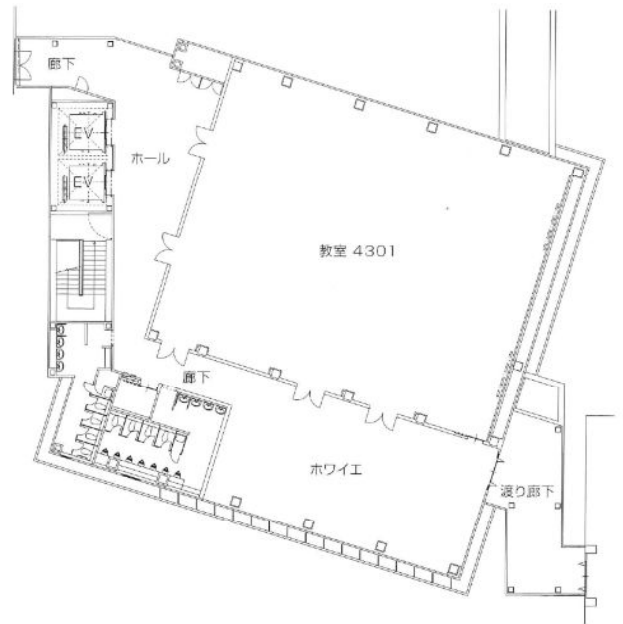
南側はキャンパス外の地域に面する眺望の良い環境なので、薄いコンクリートパネルのルーバーにより隣家のプライバシーを保全しつつ、遠景の景色と日光を確保し、ニュートラルな表情により村野建築との共存を図っています。東側は2号館に囲われた中庭に面し、オープンなガラスのファサードとして広場と建築のアクティビティが呼応し合うように意図しています。北側と西側は既存学舎との間に光庭を確保しています。

内部は大小9つの教室からなります。各階の中廊下は閉鎖的にせず、できるだけ外光が入り教室内のアクティビティも感じられるよう開放性を持たせています。地下1階は南に面する既存の樹林に向けて2面が全面開放可能な“森の教室”をつくりました。1階はメインアクセスに相応しい広々としたホール状廊下を中心とし、2階にはグループ学習の机配置の可能な教室を確保しました。また3階には講演やシンポジウムも可能な大教室を配し、景色の良い南側にホワイエ空間を用意しています。

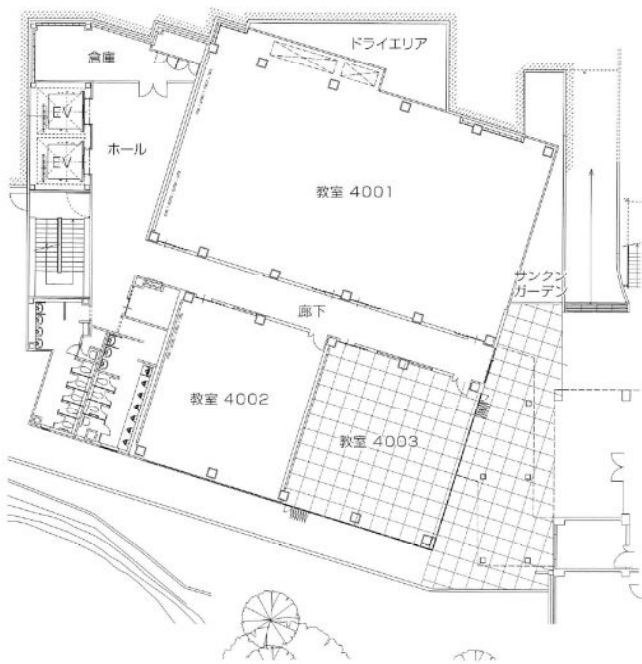
このように未来のキャンパス像に向けて、あらゆる関係者が熱心に議論を重ねながら、場所性を個性に活かし人々が応答できる、新しいタイプの教室環境を実現することができました。



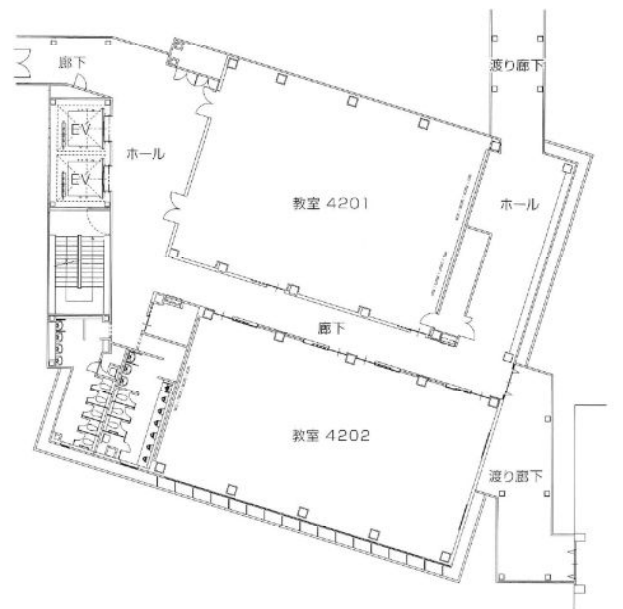
1F 平面図



3F 平面図



B1F 平面図



2F 平面図

■ 建築概要

名称	関西大学 第4学舎4号館
所在地	大阪府吹田市千里山東3丁目10番1号
設計	佐藤総合計画・星田逸郎設計共同体
施工	株式会社 竹中工務店
工期	着工 平成27年5月1日 竣工 平成28年3月18日
構造	S造 地上3階 地下1階
建築面積	964.94㎡
延面積	3440.34㎡
床面積	3 F 845.74㎡ 2 F 879.51㎡ 1 F 865.55㎡ B1 F 849.54㎡ 合計 3340.34㎡
外装	外 壁 押出成形セメント板 屋 根 アスファルト防水 シンダーコンクリート押え 開口部 アルミサッシ 電解着色
内装	教室 床/タイルカーペット タイル 壁/合成樹脂エマルションペイント塗装 天井/岩綿吸音板 共用部 床/ビニル床タイル 壁/合成樹脂エマルションペイント塗装 天井/合成樹脂エマルションペイント塗装

電気設備	受変電	既存第4学舎2号館電気室より引込 変圧器容量1350kVA (既存電気室)
	配電	三相3線210V 单相3線210-105V
	照明	LED
	弱電	電話・情報 放送 テレビ共聴 トイレ呼出
	防災	自火報 非常照明 誘導灯 非常放送
給配水衛生	給水	敷地東側の給水管より引き込み
	給湯	なし
	排水	敷地東側の下水道管に放流
空調設備	消火	屋内消火栓 消火器 連結送水管設備
	空調	ガス式ヒートポンプエアコンによる個別空調
	換気	全熱交換器による第1種換気 トイレ/ストレートシロッコファン等による第3種換気
昇降設備	エレベーター	2基 乗用30人乗り 45m/min

関西大学 第4学舎4号館 配置図



学校法人 関西大学